



社会福祉法人新潟しなの福祉会  
 地域生活支援センター「ふらっと」  
 〒951-8142  
 新潟市中央区関屋大川前1丁目2番28号  
 TEL 025(265)5958 FAX 025(265)5948  
 相談専用 TEL 025(265)5957  
 E-Mail : furatto@chive.ocn.ne.jp  
 URL: http://www.shinano-niigata.sakura.ne.jp/

### 臨時休館のお知らせ

8月13日(土)~15日(月)は、夏季休暇のため、休館させていただきます。

● ● ● 7月 ふらっと予定 ● ● ●

- 茶話会・・・ 2日(土) 13:30~地域交流室にて。(女性のための茶話会です)
- 昼食会・・・ 16日(土) 当日 10:30 までにお申し込み下さい。

## ゴーヤ&かぐら南蛮

### ★成長日記★

毎年恒例のゴーヤ。今年も関川さん(当法人後援会の会長さんです)より苗をいただき、先日メンバーさんとスタッフでプランターに植えました。あっという間にグングン成長して、ネットにつるを伸ばしています★

いつも花を枯らしてしまうと噂の(あくまでも噂です)我々ふらっとスタッフですが、おいしいゴーヤのためなら水やりも欠かしません(笑)涼しげなグリーンカーテンの成長と、おいしいゴーヤの収穫を、今年も皆さんと楽しみにしたいと思います。

また、今年は「かぐら南蛮」の苗もいただきました。新潟の一部の地域でしか栽培されていない、貴重な南蛮(とうがらし)なのだそうです。こちらも成長が楽しみです！関川会長ありがとうございます！！



## お茶会 開催します

先月号でも少しご紹介しましたが、今回も東北大学の吉井先生にお越しいただき、お茶会を開催します。

- 日 時 : 7月19日(火)9:30~
- 会 場 : ふらっと 地域活動交流室
- 定 員 : 10名
- 申し込み : 参加を希望される方は、スタッフまでお申込みください。



## 最近のふらっと♪

### 将棋ブーム到来!?



最近、将棋を指す方が増えているようです。スタッフもメンバーさんに教えてもらいながら勉強中です！



### 卓球しませんか？

運動不足解消に！ストレス発散に！  
実はうちの所長、強いんですよ！



# 後援会のつどい



6月18日に万代市民会館にて「後援会のつどい」が行われました。

第一部では弁護士の今井誠先生より担当された事件の数々を面白おかしくお話し頂きました。



第二部ではシャイニングスターズの皆さんによるハーモニカを含む合奏と力強い歌声に手拍子も合わさり賑やかな時間となりました♪



最後は阿部光子先生の進行で懐かしの歌をみんなで歌いました。会場が一体となり、「みんなで楽しむ音楽会」の名前にぴったりの時間が過ごせました。ご来場いただいたみなさま、ありがとうございました！



## ★☆☆主の「コラム」☆☆★

### 「笑顔」

6月始め、4月14日と16日に震災にみまわれた熊本を尋ねました。以前20年余り住んでいた土地を襲った、過去に例を見ぬ震災に旧知の仲間、熊本に住む子供達の不安な顔が思い浮かんで消える日々を過ごしていた。そんな思いもあって、一大決心し、機上の人となり、福岡から熊本に入った。小生の昔住んでいた町は、少し落ち着いていたようだが、内状はとも安心とは言えないものだった。知人、友人、家族の安否を尋ねる短い旅は、かけ足で、辛い気持ちを持ちつつも、明るく笑顔を返してくれた皆に、ホッと安心する再会となりました。

しかし、肥後人の心の支えである熊本城の惨状を見るととても穏やかでいられなかつたのも事実です。仲間との再会を約して、子供達やみんなの笑顔を土産に新潟に戻って来ました。熊本の復興に役立たねばと馬刺し、辛子れんこん等をかかえて帰ってきました。ただ、熊本で必ず買っ老舗の和菓子の工場が被災し、購入できなかつたのは残念でした。

でも、球磨焼酎はポストンバッグにひそませたのは、やっぱり性分だねとは同行者の苦言でした。



## 夏祭り開催します！

前回の機関誌でお知らせしたように  
今年の夏祭りは**8月27日(土)**です！  
どんな出展、イベントがあるのでしょうか？  
是非お楽しみに！



## ご寄附のお願い

今年もリサイクルバザーを行います。  
ご家庭に眠っている日用雑貨、書籍、贈答品などがございましたら是非ご寄附をお願いします。  
(食品、衣料品はご遠慮ください)



### 「伝える」ということ

私たち相談支援専門員は、障害福祉サービスを利用される方々(利用者)の希望する生活を実現するために、サービス等利用計画を作成することを、その主な仕事内容としています。

サービス等利用計画は、支援者全員が利用者の希望する生活を実現するための羅針盤となるものなので、利用者はもちろん、支援者全員がわかりやすいものでなければなりません。さらに言えば、その計画書が、関わる人全ての人のやる気を引き出すものでなければなりません。私たちの仕事は、利用者の思いを「言語化して伝える」というシンプルではあるけれど、大変重責のあるものと言えます。相談支援専門員の研修では、『どんなにアセスメントができていても、最終的に利用者や支援者に「伝える」ことが上手いかなければ、利用者には支援は行き届かない』とまで言われてしまいます。

日々伝えることの難しさを日々痛感し、言葉との格闘は今日も続きます。国語力がほしい…… す～さん